

試合の進め方

スムーズな試合進行にご協力をお願いします。

1. 試合開始前、**対戦チームおよび審判チームは得点係を含め、各自の手指、使用球(練習球を含む)・用具の消毒**をする。
2. 審判は両チームのキャプテンを副審側に呼んでトス(ジャンケン)する。
(サーブ権・コート権を決める。) ※主審でなくても良い

試合開始の整列に間に合わない選手がいるときは、事前にキャプテンのトスのときに、審判と相手チームに申し出て、了解をとってください。申し出なしに、遅れた選手がその試合に出ることはできません。

3. 鳴笛して合同練習をさせる。(合同練習は3分以内。状況により臨機応変に。)
4. 主審は、鳴笛して両チーム全員をエンドラインに整列させる。
(副審側でコートに向かい、主審はネットの左側に、副審は右側に立つ。)
5. 主審・副審は、主審側へ移動する。
6. 主審は、吹笛して選手を挨拶させる。(エンドラインでの礼のみとし**握手はしない**)
7. 副審は副審側に戻り、主審は審判台に上がる。
(選手がポジションについたらすみやかに試合を開始する。)
8. 1セットは15点先取とし、最高17点までとする。
9. セット終了後、主審は吹笛とハンドシグナルで、コートを移動させる。
(選手は反時計回りに支柱の外側を回る。)
10. 速やかに次のセットに入る。
(2・3セットの開始時は、エンドラインで礼はせず、速やかにコートに入る。)
11. 3セット目に入る場合は、副審側で改めてトスをする。
(サーブ権・コート権を決める。)
12. 3セット目はどちらかのチームが先に8点になった時点でコートを替える。
13. 試合終了後、主審は審判台から降りる。(両チームは全員エンドラインに整列。)
14. 主審は鳴笛して選手を挨拶させる。(エンドラインでの礼のみとし**握手はしない**)
15. 主審と勝者のチームキャプテンは、記録用紙を確認の上サインをする。
16. 試合終了後、**対戦チームおよび審判チームは各自の手指、試合球・用具の消毒**をする。